

電気柵をきちんと設置して、クマ被害を防ごう！！

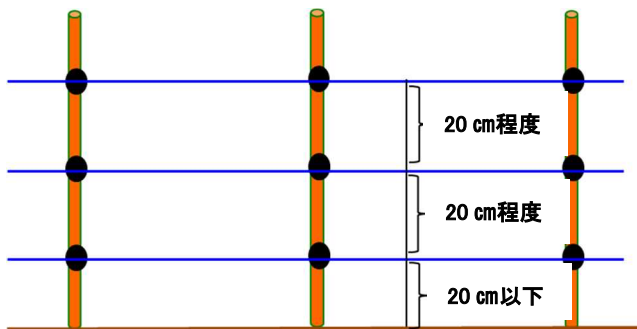
鳥取県鳥獣対策センター

堅果類豊凶調査（鳥取大学に委託）では、今年はブナとコナラの結実状況が悪く大凶作（ミズナラは豊作）との中間報告が得られており、今後、山中での餌不足により、ツキノワグマが餌を求めて果樹園へ接近し、カキ等の果樹への被害の発生が懸念されます。電気柵の設置等、適切な対策を行いクマやイノシシによる被害をなくしましょう。

【柵による侵入防止】

クマは木登りが得意で、柵をよじ登ることができるので、設置する柵は電気柵が基本となります。

〔クマ用電気柵の基本形〕

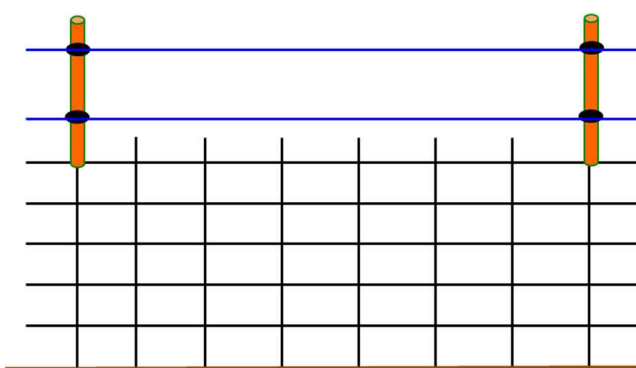


- 電線は3～4段
- 電線の間隔は地面から
1段目：20cm以下
2段目以上：20cm程度

※詳しい設置方法は、「電気柵設置・点検マニュアル」

（鳥取県 HP：<http://www.pref.tottori.lg.jp/211038.htm>）をご覧ください。

〔イノシシ対策兼用〕



- イノシシ対策用に、ワイヤーメッシュ柵（高さ1m）を設置してある場合には、上部に電線2段を配置することで、クマ対策用の柵にすることができます。

【柵の設置上の留意点】

- 設置後は、電圧チェックなど日常点検を欠かさず行ってください（1週間に1～2回の電圧点検、電圧は5キロボルト以上に）。
- 電気は昼夜連続で流してください（クマは、朝方（4～10時頃）や午後（15～21時頃）に活発に活動します）。
- 電線に草などが触れると漏電して十分な電気ショックが与えられませんので、定期的に草刈りが必要です。
- 樹木を伝った侵入を防ぐため、柵周辺の木は伐採や枝落としをしてください。